

新山協ニュース

新潟県山岳協会ホームページ <http://www.echigo.ne.jp/~nma/>

会長 遠藤家之進正和
新潟県山岳協会
新潟市南区鷺ノ木新田1049
TEL 025-362-5004

事務局 諏訪恵一
長岡市高畑町610-10
TEL 0258-35-4373

編集 新山協ニュース編集
委員会代表 浅野巨寛
TEL 0258-52-3998

平成20年度 第3回理事会 報告

日時 平成21年1月24日

12時30分から14時まで

場所 ニューオータニ長岡 長岡市台町

出席者 橋本正巳顧問 平田大六 参事 山田智子 参事 遠藤家之進正和 会長 阿部信一 片桐一夫 稲田春男 渡邊正之 副会長 森庄一 理事 七沢恭四郎 楡井利幸 本間一人 小林重一 今井浩二 浅野巨寛 真島智宣 常務理事 市村英明 北村猛 桜井正一 嶋原哲也 高橋正英 中村光信 井春文 水落竜馬 伊藤明徳 理事 外山慎一 横山征平 監事 諏訪恵一 事務局 局長 計28名

挨拶 遠藤会長

いよいよ国体開催年となった。運営担当者宛には委嘱状を発送した。来県する皆さんに良い印象を持ってもらうようご協力をお願いしたい。

◆議事

◆第1号議案 専門委員会事業報告(9月以降) 各委員長 説明 承認

◆総務委員会 七沢委員長 親睦登山(口頭)

◆指導技術委員会 阿部委員長 主任検定員認定研修

◆遭難対策委員会 楡井委員長 救急法研修延期(口頭)

◆自然保護委員会 本間委員長 自然保護研修会尾神岳・山岳写真展(資料あり)

◆競技委員会 稲田委員長 大分国体審判・視察後事業多数(資料あり)

◆海外登山委員会 小林委員長 中国遠征報告書が完成した(口頭)

◆ジュニア委員会 今井委員長 ジュニア強化のみ(資料あり)

◆会報編集委員会 浅野委員長 毎月発行継続(口頭)

◆第2号議案 第63回大分国体結果報告 稲田競技委員長 説明 承認

◆選手・監督名・成績結果報告 成年男子 平嶋元・岩橋由洋・後藤里香 R17位・B6位

成年女子 片桐麻由子・瀧澤倫未・春日俊信 R7位・B13位

少年女子 塚本菜々香・五十嵐妹子・山田真史 R4位・B8位

(口頭)

・遭難対策委員会 楡井委員長 救急法研修延期(口頭)

・自然保護委員会 本間委員長 自然保護研修会尾神岳・山岳写真展(資料あり)

・競技委員会 稲田委員長 大分国体審判・視察後事業多数(資料あり)

・海外登山委員会 小林委員長 中国遠征報告書が完成した(口頭)

・ジュニア委員会 今井委員長 ジュニア強化のみ(資料あり)

・会報編集委員会 浅野委員長 毎月発行継続(口頭)

◆第2号議案 第63回大分国体結果報告 稲田競技委員長 説明 承認

◆選手・監督名・成績結果報告 成年男子 平嶋元・岩橋由洋・後藤里香 R17位・B6位

成年女子 片桐麻由子・瀧澤倫未・春日俊信 R7位・B13位

少年女子 塚本菜々香・五十嵐妹子・山田真史 R4位・B8位

・種別の反省 成年男子はレベルアップし厳しい競争。成年練習方法一考を要す。少年女子2種目入賞。少年男子は北信越レベルが高くブロック突破できなかった。(長野R3位・B8位、富山R12位・B11位)

・主任審判が国際資格者のほか審判レベルが高く運営がスムーズであった。

◆第3号議案 第64回トキメキ新潟国体実行状況・事業予定 森実行委員長説明 承認

・実施要項についてポルダリングの同一種別の同一日の予選決勝は山協競技委員会で否とされたので、シュミレーションの結果配布のとおり日程となった。今後のスケジュールは配布資料のとおり4月の第1回基準会議・6月のリハーサル大会・10月の本大会となる。

・本国体のほかの関連事業もあるため、事業が重ならないように調整願いたい。

・稲田競技委員長から競技施設建設後の体験会等補足説明がある。

質疑 片桐 競技日程は確定か 水落 ボルダリングの2日目日程はルートセットとオブザベーション時間を考慮すると無理があるのではないかと。 森 日程(時間割)については検討する。種目別競技期日は最終決定してもらいたい。

市村 5月末の運営研修会は当会の行事と重なり役員全員参加は不可能であるが。 森 4月の第1回基準会議で実務研修していただければ全員参加を求めたい。

◆第4号議案 その他 承認

1 新潟百名山執筆状況 片桐副会長 百名山選考し進行している。

2 高体連総体登山大会の決定 真島常務理事説明 平成24年度開催決定した。場所は湯沢町の3コースを予定し準備する。(概要資料あり)

3 役員改選 遠藤会長説明 2 巡目国体を控えており現役員体制を継続したい。退任者は後任を推薦してほしい。

質疑 片桐 全回理事会欠席者に留任依頼文を発送したらどうか。 遠藤 留任・後任推薦を含め理事長と協議し、依頼文を発送する。地区別も考慮する。

4 室賀名誉会長からの寄付について 遠藤会長説明 国体運営に使用していただきたいとの手紙を沿え20万円の寄付があった。寄付者の意向に沿って運営経費

に使わせてもらいたい。
選手強化スタッフの費用補助にも使わせてもらいたい旨の発言もあった。

- 5 中国未踏峰登頂報告書残 3部 1部2000円 片桐副会長説明
- 6 村松の白山杉並木保護の

未踏峰を攀じ、荒野を駆ける

「老山I峰・老山II峰」2

老山I峰・老山II峰隊員 浅野 巨寛

ため車の乗入禁止とし、歩くよう勧めるべきでないか。高橋理事説明。県山協ニュースで広報することとした。

◆終了
文責 新潟県山岳協会理事長 森 庄一

○2007年は新潟県山岳協会・青海省登山協会兄弟締結15周年の年である。記念行事として、候補に上がっていた3峰は情報も少なく、定期的に永久凍土の水解がおこり四輪駆動車をもってしてもアプローチの走破が困難との見解でゴルドムドを拠点とした山域を偵察する事となった。一方希望者も多い「青海省西寧」チベット、ラサへ天空の列車の旅」も併行して行う事となった。《中国・青海省西寧》チベットラサへの天空の列車の旅《崑崙山脈未踏峰調査トレッキング》と銘打った計画の実行は、未踏のP5656m峰調査トレッキング隊は6月16日～6月30日の日程で8名の参加。列車旅の日程は6

月23日～6月30日の日程で6名の参加者となった。6月16日新潟空港を出発した調査隊は19日にはゴルドムドを経て小雪が舞う前進基地のシータータンに入った。
6月20日四輪駆動車でもかなり困難な渡渉をしてBCの適地を求めて行くが、積雪とぬかるみにスタックすること度々で少し下がった4250m河岸にBCを設営した。高度障害による体調不調をうったえる隊員が出始める。6月21日、9:05分天候があまり良くない中、昨日のスタック地点まで車で移動、その後は積雪20cmほどの中を徒歩でP5656m峰のABC予定地(約4800m)を目指す。この季節にしては20年来の悪

天続きの影響でこのあたりはお花畑とおもわれるが今は一面の銀世界だ。私は11:55分体調が悪くなり進めなくなる。天候がくずれ吹雪となる。高度計は4540mを指している。車まで戻って待機することにした。先に行った隊員達も13:50分頃、4600mまで到達して車まで到着。ABC設営予定地の適地の見込みがついたとの事で安心する。乗り込む予定の車が降り積もった雪と泥濘化した地面でスタックを繰り返す。悪戦苦闘するが深みにはまるばかりだ。応援の車が到着する間、私達はBCまで徒歩で戻ることになった。時々時間が見えるがBCまでがなんと長かった事。この後何日も食欲がなく果物以外口に入れることが出来なかった。

6月22日は予備日であるが、体調の比較的良好な隊員は見晴らしの良さそうな尾根、ピークをもとめて偵察した。体調を崩してシータータンに下がっていた桜井隊長、横山隊員も合流した。無事な顔を見てほっとする。
6月23日朝食後はBCを撤去してゴルドムドへ向い久し振りのホテル宿泊と全員の揃った楽しい夕食となった。
6月24日以降は28日ラサまでの列車の旅を楽しんだ列車

隊と合流するまで、大紫丹、魔鬼城とツアイダム、の荒涼とした砂漠を走り回る事になる。足掛け3日間滞在した魔鬼城の光景は見渡すかぎり凄まじくそして、美しい。太陽と風が気の遠くなるような悠久な時間をかけて創り上げた空間だった。夜空の星のなんと近いこと。流星と一直線に天空を横切る人工衛星。だが猛烈な砂嵐は設営中のテントを引き裂くといういたずらもしてくれた。
6月28日西寧にて真夜中に合流した列車隊と喜びを分かち合い、午前中のタール寺参拝、夕方までは自由時間を楽しむ。夕方六時からの15周年記念祝賀会は盛大で顔なじみの青海省のスタッフとも大いに打ち解けて交流を深めることができた。席上、片桐一夫氏が新潟県山岳協会と青海省登山協会とを結ぶ終身顧問として請われるというお目出度い出来事もあった、成功裏に終わった旅の余韻を楽しみながら、6月30日12:50分無事新潟空港へ帰りつくことが出来た。

和美(長岡H・C)小林 富夫(ユニオン航空) 敬称略順不同
《未踏峰調査トレッキング》隊員
総隊長 桜井 正一(新潟県山岳協会)隊長「登攀」片桐 一夫 副隊長 浅野 巨寛 写真・横山 征平(関川村山の会)／岩石収集・仁部 哲雄／写真記録・井口 光利(見附山岳会)／記録・井口 礼子
○2008年新潟県山岳協会・青海省登山協会兄弟締結15周年記念行事
未踏峰P5656m登山 (7月19日～8月2日)

腰痛・肩こり・冷え・筋力低下

細菌衛生・さい帯血保管 等

総合健康医療器機販売

メディカル ユングフラウ

電話 090-3173-0540

2007年の現地調査の結果を踏まえての数回の打ち合わせと訓練などを行い、参加隊員間の融和とチームワークは非常にうまくいったと思う。登山の期間も積雪や降雨によるアプローチの泥濘化なども考慮して出発を一ヶ月ほど遅らせるなど万全を期したつもりだった。現地に入ってみて近年の気候の変化に現地の人達もほやほやと天候が安定していなかった。

7月19日に出発して5日目の7月23日には増水している河を渡渉してBCを設置する事が出来た。天候の悪化を予想して予定を一日早めて7月25日には、5名の隊員が初登頂することが出来た。ABCにもう一張りテントが張れたら登頂希望者全員が頂に立てたと思うのだが。

予備日数をぎりぎり使って待機された二次隊に編入された方々の残念さがわかる。

次回の遠征時の装備を考えるうえでこの課題と思う。未踏峰P5656mは登頂後『老山II峰』と命名、青海省登山協会から認定され登頂者には登頂証明証が発行された。

『老山II峰』遠征に際し多くのアドバイス、支援、本当に有り難く心の支えとなりました。

**中橋本前会長の藍綬褒章
の祝賀会が開かれる**

昨秋、永年に亘り自然公園指導員として貢献された功績により「藍綬褒章」授章の荣誉に輝かれた新潟県山岳協会前会長の橋本正巳さんの祝賀会が盛大開催された。橋本さんの所属する高田ハイキングクラブが同会の幹部七澤恭四郎さんを発起人代表として企画したもので、2月7日高田公園、高田駅にも程近い「デユオ・セレソン」を会場として執り行われた。好天にも恵まれた会場には、高田ハイキングクラブの組織力と橋本さんの人柄を慕った県内外の岳人や親族も含めて100人を超すほどの参加者が橋本さんと人生の最大の伴侶である奥様の福子さんを祝福した。

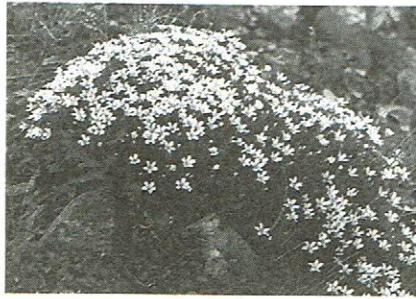


平田大六協会参与と橋本ご夫妻

**越後の山に見られる
変種植物**

◆ タカネツメクサ属
③1 タカネツメクサ
minuroria

むささび会 加藤 明文



タカネツメクサ
雪倉岳 8月1日



母種 エソタカネツメクサ
大雪山 7月12日

本県では雪倉岳だけに見られる。礫地を好み株を作り、よくコマクサと同居している。学名、V, hondoensis で本州中部地方だけに産する。母種は北海道中央高地や日高山脈に産するエソタカネツメクサで学名 arctica (北方の)、本来でシベリア産である。差異はその物の大きさがすべて大に対して本種は小。属名は非常に小さな関節の意。ツメクサとは爪で「爪」とはひっかくるものの意。

海外・国内旅行、主催・手配



ユニオン航空サービス

国土交通大臣登録旅行業第553号 JATA代理店 (株) 日本旅行業協会会員
本社 新潟県長岡市東町1丁目3番5号
<http://www.uks.co.jp>

- 長岡営業所 〒240-0084 長岡市東町1丁目3番5号 ☎ (0258)33-7123
一般旅行業取締役主任 森 博樹
- 新潟営業所 〒950-0918 新潟市米山3丁目2番11号 ☎ (025)246-2266
一般旅行業取締役主任 中島 隆



JTB関東 法人営業新潟支店

新潟市中央区古町通6-976

TEL:025-224-2201 FAX:025-229-5775

<http://www.jtb.co.jp/shop/houjinniigata/>

※“旅”の最新情報、ご覧になれます。

E-mail:h_mitani388@jtb.jp

寄贈推薦図書



ものと人間の文化史
『熊』

◆著者 赤羽 正春 (あかば まさはる)

1952年長野県生まれ、明治大学卒業、明治学院大学大学院修了、文学博士

◇新潟県山岳協会行事の講師として講演のなかの基となった著書である。第一部～第三部・十八章から構成されており、古来より敬われた熊と人との精神的関係や熊を通しての人間の生存可能性にも及ぶ自然史・動物の文化史を一気に読ませてしまう名著である。

推薦者・問い合わせ 県山岳協会総務・自然保護委員会 遠山 実
〒958-0211 岩船郡朝日村高根472 ☎ 0254-73-0467

発行 2008年9月25日 初版第1刷発行

発行所 財団法人 法政大学出版局

A 6版 (371頁) 定価 (本体3,500円+税)

編集ことうき

▲地球規模で進む温暖化の影響によって各地の氷雪をめぐめる環境が生態系や人間生活にも影響を及ぼし始めたようだ。挙げればいとまがないが、身近なところでは雪の降り方にも確かな異変がある。土地柄にもよるが、以前には多く降った粉雪が少なく、今は湿った重い雪がほとんどで今年は雪下ろしもなかった。地球温暖化の影響は偏西風が蛇行、酸性雪の原因物質が中国南部や東南アジアなど、より広範囲から運ばれている可能性があるかららしい。酸性をふくんだ春の多量の雪解け水は、深山のブナ林の自浄能力をはるかに超え水質変化による、生態系への影響が恐ろしい。深山のキノコが採れなくなったり、川魚の餌となる川虫が減ったりとすでに影響は出ている。

▲冷蔵庫を覗くと野菜菜の入った納豆がある。これを使った「ヤキメシ」を作ろう。納豆は3人前で小パック一個位が適当のようだ。長ネギは適宜を1cm位に切っておく。野菜室で邪魔になつておるブロッコリーの芯かキャベツは葉の芯使う。歯ざわりが良くなるから1cm弱角に切っておいて、ほかに小女子があったからそれも入れる。油を入れた中華

ナベは弱火にして長ネギに少し色がつくまで炒め、火を強めて納豆を先に入れ、小女子、ブロッコリーの芯を軽く炒めて塩コショウで少し味をつけておいて卵を割り入れ味をなじませる。レンジしておいたゴハンを入れたら手早く炒め、醤油をナベの回りからかけまわし香ばしさを出すのがコツ、味見をして出来上がり。どうだ！ウスターソースでやっても旨く、この旨さはクセになる。

編集・会報 浅野

山への想い 過酷な厳冬期の山に挑む 県内岳人の冬山装備をアシスト

登山・スキー・テニスの専門店

ヒトと地球のインターフェイス



新潟市中央区堀之内南1丁目16-52 TEL(025)241-5134代
営業時間/平日10:30am~8:00pm 休日10:30am~7:00pm

登山・ハイキング・クライミング テレマーク&山スキー



パーマーク

長岡市西宮内2-97(長岡市役所裏通り)
TEL0258(37)1200-FAX0258(33)1164
●営業時間/AM10:30~PM8:00水曜定休

<http://www.parrmark.co.jp>